
仮面ライダーA I Z E N

スケイス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーAIZEN

【Nコード】

N2811P

【作者名】

スケイス

【あらすじ】

かつて、仮面ライダーと言う男達がいた……。

彼らは、己の身を省みず、人々の為に戦い続けた。終わらぬ孤独に苛まれながら。

そして、遙かな時が流れ、彼らの戦いは伝説として語り継がれるようになった。

これは、そんな時代の物語。孤独な改造人間の戦いの軌跡……

ゝ序章ゝ（前書き）

石ノ森章太郎先生と全ての関係者に敬意を表して……

く序章く

そこは白い部屋だった。明るくて暖かい。
窓の向こうで大人達が何かを話していた。

あさしんぼーぐ

しんぴけっしゃ

ありす

よく解らなかった……。でも、それを話す大人達の顔はとても怖かった。

やっと外に出してもらえた。そこは、一面の花畑だった。

花畑の真ん中に男の子がいた。私の良く知っている男の子。

彼は私に気付くと、振り向いて微笑み、こう言った。

「一緒に……行こう」と。

そこは黒い部屋だった。暗くて冷たい。

窓の向こうで、誰かが俺を見て、何か喋っていた。

そたい

せいしょうじょ

でんせつ

聞き覚えがなかった。だが、俺に向けられている目は、どれもどこか狂っている。

外出許可が下りた。外には沢山の花が咲いている。

そこには少女がいた。俺の良く知る少女。俺は少女に微笑みかけ、一言だけ伝えた。

「一緒に……行こう」と。

仮面ライダー AIZEN

黎明篇

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2811p/>

仮面ライダーA I Z E N

2010年12月4日05時55分発行